



一関青年会議所に入りませんか？

Do you join Junior chamber ichinoseki?

一般社団法人 一関青年会議所



過去の事業の紹介



まちづくり



ひとづくり

一関の夏まつりを盛り上げたい



夏まつり事業

二代目時の太鼓大巡行 一関子供七夕みこし

「一関に
過ぎたるもの
二つあり、
時の太鼓と
建部清庵」

『背景』

一関の夏まつりになくてはならない『二代目時の太鼓大巡行』を郷土の歴史・文化として、後世に継承していく必要があります。

『目的』

市民がまつりを通して郷土愛や関心を高めることでまちに賑わいと活力を与えることを目的とします。

『結果』

若い世代の参加者の増員により、参加者の家族や知人の見物者も多くなり、より一関の歴史や文化を知っていただく機会となったとともに、活気や楽しさ溢れる夏まつりになりました。

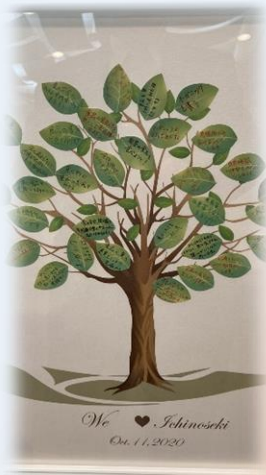


講演会事業

講師

山田正彦 氏

「売り渡される 食の安全」



『背景』

SDGs（持続可能な開発目標）の中でも身近な「食」、特にも農業の根幹でもある種苗法の改正案が国会審議され遺伝子組み換え食品などが身近になっており、次の世代を育成する最前線である母親や家族に対し知識を深める場を提供することが必要です。

『目的』

活動を支えてくれる家族や仲間・地域に対し、知識を深めていただくことで、食品購入の際の行動に変化を起こします。

『結果』

アンケートによると、遺伝子組み換え食品等についての「理解が深まった」と回答を得られた人が100%でした。もともと購買行動や意識を変えてもらうことが目的でしたが、自由記載の中の明日から取り組み内容に「明日以降食品購入の際の表示に気を付ける」「種子法に注目していきたい」「安心安全な食べ物を選んでいきたい」との意見があり、今後の商品購入の際の思考に変化を起こせました

子供達のためにいま私達が出来ること

未来のお仕事探してみよう！

青少年育成 事業



わくわくお仕事 作文コンクール

「一関市内にあるお
仕事動画を見て将来の
ぼくわたしを考えよう」



『背景』

子どもの将来像に「地元で暮らす」「誇れる故郷に戻って来なくなる」という選択肢を増やすことが地域の抱える問題解決に必要です。

『目的』

地元に関心や愛着心を高めて地元で仕事をしながら生活をする、故郷に戻ってくるという選択肢を増やします。

『結果』

小学生の作文から楽しさ、魅力を知ったという事が

4年生	61名中39名	64%
5年生	51名中41名	80%
6年生	33名中21名	63%
全体	146名中101名	69%

%の小学生に作文コンクール 動画を通して仕事の楽しさや魅力を伝える事が出来ました。



青年会議所とは

Training・トレーニング

個人の修練

地上最大の宝は個々の人格にあり。

JCの三信条

friendship・フレンドシップ

世界との友情

友情は国家主義に優先する。

service・サービス

社会への奉仕

社会の奉仕は
人生最大の仕事である。

青年会議所(JC)は“明るい豊かな社会”の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。60余年の歴史をもつ日本の青年会議所運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在696の地域約36,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中核は国際青年会議所ですが、121カ所の国及び地域に121NOM(国家青年会議所)があり、約16万人の会員が国際的な連携をもって活動をしています。日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業として我々は市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導力の開発を押し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

JC活動を通して得られる 四つの機会

個人開発の機会

コミュニケーション
スキルの向上

リーダーシップ
能力の向上

時間管理

チーム作り

人間関係
構築

創造性
の育成

JC運動を実践する中で、様々な
役職や役割を経験することができます。
この豊富な実践経験を積むことで
個々の成長につながります。

国際的協力・平等・平和の必要性を
はっきりと自覚できます。世界的な
諸問題を理解し、深く関与するための
数多くの機会があります。

姉妹JC交流

国際事情へ
の精通

国際的プロジェクト
の経験

国際会議
の経験

他国の人々
との友情

国際交流の機会

ビジネスの機会

異業種交流

マネージメント
能力の向上

同業者との
提携

JCには多種多様な業種のメンバーが
在籍しております。メンバー間で様々な
情報を交換、共有し、意見を交わしあう
ことでビジネスの成長につながります。

地域の経済繁栄、環境保護、
子供たちの未来に重点をおき、
地域社会に建設的に関わる機会が
あります。

各種事業企画と
そのリーダーの経験

グループワーク
経験

地域社会との
かかわり

地域社会調査

地域社会開発の機会

一関青年会議所
JCI

一関青年会議所の運動は、さまざまな事業の開催を通じて、
リーダーとしての必要な技術の習得と向上を図り、そして今以上に
地域を活性化するために、ビジネス、個人、地域社会、国際性の
4つの(機会)の領域に展開されています。



すだ みつひろ
須田 光宏 先輩

株式会社 平野組
代表取締役社長

平成6年度入会

平成17年度 監事
平成16年度 顧問
平成15年度 直前理事長
平成14年度 第47代理事長
平成13年度 事業担当副理事長
平成12年度 政策担当副理事長
平成11年度 専務理事
平成10年度 総務委員会委員長
平成9年度 社会開発委員会委員長
平成8年度 社会開発委員会副委員長
平成7年度 指導力・経営開発委員会副委員長

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

父が入会していましたが、何をやっているのか具体的に知りませんでした。会社や商店街の二代目が入っている様な印象でした。良いことをしている団体なんだろうとのイメージではありました。

■入会のきっかけは？

建設業協会青年部の先輩が入会していて、先輩から「入らないか」との声掛けをいただきました。一瞬、ためらいましたが、父もやっていましたし、同級生も数人おりましたのでやってみようと思いました。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

...正直にお話ししますと一番最初の事業は、忘れてしまいました。ですが、とても印象深かった事業が、一関市の合併の際の「地方分権、地域主権・何の為に合併するのか」などを学ぶ事業でした。市民にアンケートを取るなど、本格的なものだったと記憶しています。

とにかく初めての例会の時のJCクリードはとてもびっくりしました。

■なぜそのように感じましたか？

初めてJCクリードを聞いた時、宗教か何かなのかと思いました。しかし、企業にも企業理念がある様に、青年会議所にも理念や目的、使命があって然るべきであると、今は納得しています。

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

同級生が数人おりましたので参加しやすく、積極的に事業には参加しました。全国大会を盛岡で開催した時、先輩方の一生懸命な姿と全国各地から人がたくさん集まることに驚きました。

■活動する上で大変だったことはなんですか？

飲み会が多いのですが私の場合は、あまり苦ではありませんでした。委員長になった時に委員会メンバーに仕事をお願いする等、うまく人を使うことができず苦労しました。

■それをどのように乗り越えましたか？

結局、やれることは自分でやりました。人の使い方としては、うまくならなかったのかも知れませんが自分自身の能力開発にはなりました。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

辞めようと思ったこともありましたが、仲間の支えがあって続ける決心をし、無事卒業を迎えることができました。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

世代・地域・業種を超えて色々な人脈ができることです。反面教師もいますが、尊敬できる先輩にもたくさん出会いました。理事長を経験して、様々なところへの目配りや、仕事を人に任せられる様になってきました。色々なやり方、司会の仕方・コンペの開催の仕方など知ることができました。会議の進め方など青年会議所のやり方がすごく参考になりました。

■率直にお聞かせ下さい。青年会議所のメリットはなんですか？

人づくりであると思います。自己も磨かれ、人脈もできます。商売だけのメリットではなく、委員会や理事長の同期との良い意味でのライバル関係が成長の刺激となります。社員に対してもメリットがあり「社長の青年会議所の仲間だから...」と良くしてもらえることも多数あります。

現在は自身の会社から部下を青年会議所へ参加させております。青年会議所での経験が自分はずごく勉強になりましたので、社員の教育の為には非常に良いと思います。





さとう わたる
佐藤 航 先輩

世嬉の一酒造株式会社
代表取締役社長

平成21年度入会

平成23年 研修委員会副委員長
平成22年 会員拡大委員会副委員長

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

最初の青年会議所のイメージは悪かったです。町おこしと言いつつも遊んでいる会だと思っていました。

■入会のきっかけは？

呑みながら、友人が理事長になったら入会するという約束をしていましたので、友人が理事長になった年に、約束通り入会しました。

実は「父親に言えない会社の不満が言えるから・・・」の様な勧誘もありましたが、それは心に響きませんでした。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

会員拡大委員会の例会でした。飲み会がメインだった印象を受けました。心境としては、不安でした。

■なぜそのように感じましたか？

当時の青年会議所にはあまり知り合いがいなかったからです。

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

家庭との両立も考えて活動していかなければならないと思いますが、私は家庭でも隠さず全てを報告していたため、協力してもらうことができたと思っています。

■活動する上で大変だったことはなんですか？

楽しいことに流されがちですので、仕事と家庭との時間配分や時間管理が大変でした。私事ですが、青年会議所に入って二週間程で当時の社長(父)との考え方の違いなどが理由で会社をクビになったこともありました。

■それをどのように乗り越えましたか？

乗り越えた訳ではなく、失敗もあり流された部分もありました。しかし、そこも含め経験になったと思っています。また、青年会議所の中で正論だけでは通らないことなどを学び、自分自身が丸くなってきました。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

大変なこともたくさんありましたが、達成感など得るものも沢山あり、自分自身も変わってきたと感じられたからです。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

自分の事業や商売の利益だけではなく、他人や自分たちの町の為に活動する利他の精神をもった仲間ができました。また、青年会議所事業の構築を通して、自社ではできない事業構築のシミュレーションができ、自社の事業の参考にすることができました。

■率直にお答えください。青年会議所のメリットはなんですか？

色々な業種のメンバーと出会う中で、考え方の違いなど大変勉強になりました。普段事業主として他人から指摘を受けることはありませんが、青年会議所内では相互に指摘しあえることがとても良いと思います。年会費だけを払っても活動をしなければ得るものは少なく、その反面、1年でも本気でやれば、師と仲間づくりができます。

得るものは、人それぞれだと思いますが、足りないものを気付かせてくれる数少ないチャンスだと思います。

卒業後に感じたことですが、全国のセミナーなどに参加しても、青年会議所卒業生というだけで初対面でもすごく良くしていただくことも多いです。



「たくさんの出会いの機会をいただきました」



おおなみ ともこ

大浪 友子 先輩

株式会社

亀の子せんべい本舗大浪

代表取締役社長

平成11年度入会

平成26年	顧問	平成14年	夏まつり特別 委員会副委員長
平成25年	直前理事長		委員長兼
平成24年	第57代理理事長	平成13年	事務局長兼 会計担当理事
平成23年	特命部会部員	平成12年	広報・MC
平成22年	夏まつり委員会委員		委員会副委員長
平成18年	青少年育成委員会委員長	平成11年	会員開発委員会委員
平成17年	専務理事		
平成16年	総務・情報ネットワーク委員会委員		
平成15年	会員開発委員会副委員長		

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

父が所属していたので入会前から存在は知っていました。以前勤めていた会社の上司から例会への参加を勧められ興味を持つ様になっていきました。

■入会のきっかけは？

母に「会社に居るだけでは何も学べないし、仲間づくりの良いきっかけになると思うから入会してみたら」と勧められ、その言葉が決め手となりました。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

入会して間もなく45周年の式典や記念事業が催され、目紛しく過ぎて行った様に思います。メンバーが何でもこなしていく姿を見て、ただただ圧倒されていました。服装が適切ではないと指導されたのをつい昨日の様に思い出されます。そして、いつか自分も理事長という職に就きたいと思ったのもその時期だったと思います。

■なぜそのように感じましたか？

当時の理事長はとても、皆に慕われていて、こんなに沢山のの人に慕われる人になりたいなと感じました。

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

入会当初から理事長を目指し活動していました。そして、自分を必要としてくれている場所があり、その場を提供し、作ってくれている方々がいてくれたからこそ、青年会議所活動に参加しようと思いましたし、当時の先輩方の活動する姿を見て、自分も何かの力になりたいと思いました。

■活動する上で大変だったことはなんですか？

妊娠をきっかけに一関を離れなければならず、活動が出来なくなり、メンバーに迷惑を掛けてしまったことです。

■それをどのように乗り越えましたか？

その時は、休会制度もなく、一度退会という形をとりました。ですが、やっぱり一関が大好きでいつかまた一関青年会議所で活動したいと思い再入会をしました。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

この地で商売を行なっていく上でこの街への恩返しとして、活動を行なってきたところがあります。ですが、子供を授かったことでより一層一関のことを考えるようになりました。子供達が将来誇れる一関を創造することができる活動を行えるのが青年会議所だと思っていたからです。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

沢山の人の出会い、沢山の気づきをいただきました。様々な方から何うお話も大変感慨深いものでした。

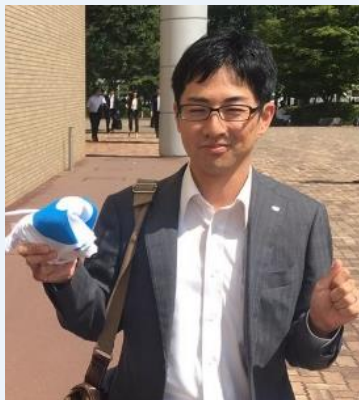
また、理事長を経験したことで、伝えることの難しさや大切さも学ぶことができました。『伝える』には「受け継いで残す。受け継いで次の代に授け渡す。伝授する」という意味がありますが、以前よりも『伝える』ことを大切に思う様になりました。

■率直にお聞かせください。青年会議所のメリットはなんですか？

メリットだけを求めて青年会議所活動をするのは難しいかもしれませんが、自分が行なう活動により付随してくるメリットはあると思っています。青年会議所活動をしたことにより得たものは沢山ありますが、その中でもやはり人との出会いは大きかったです。活動をしていなければ出会えなかったり、関わることもなかった方と沢山の出会いがありましたし、その機会やチャンスを得ることもなかったと思います。そこからひとつでもチャンスを生かしていくことができれば、それがメリットに繋がるのではないかと思います。



「活動の実績が自信につながっていく実感」



すずき ようすけ
鈴木 陽介 先輩

株式会社 平野組
北上営業所長

平成25年度入会

平成30年 専務理事
平成29年 連携推進会議副議長
平成28年 青少年育成委員会委員長
平成27年 事務局長
平成26年 総務広報委員会委員長

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

勤務先の社長が入会していた組織という程度の認識で、具体的には何をしている組織なのかは知りませんでした。しかし、社長の会社でのスピーチを通して、二代目時の太鼓巡行への関わりや、地域を元気にする事業を行っているという印象は持っていました。反面、周りから芳しくない評判を聞くこともありました。

■入会のきっかけは？

勤務先の社長より、入会しないかという話をいただきました。その当時、子供の幼稚園のPTA会長が青年会議所の理事長を務められており、普段のその方のお話を聞いていて素晴らしい方だと思っていたことから、入会に対して前向きな気持ちが芽生えました。そして、その方の所信に感銘を受けて入会を決意しました。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

事業では、ILCに関する講演会へ出席しました。
少し不安な気持ちがありました。

■なぜそのように感じましたか？

知っている方が少なかったことや、参加した講演会が他の青年団体(商工会議所青年部、農協青年部など)が参加されていたためです。

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

入会初年に担当した青少年育成委員会での会議等へ出席するうちに、メンバーとの触れ合いなどを通して、活動の楽しさを感じて積極的に参加するようになりました。特に、尊敬できる先輩方との交流を深められることが刺激になりました。

■活動する上で大変だったことはなんですか？

H28年度に青少年育成委員会委員長を担当させていただいた際に、事業準備の過渡期であった8月に腰椎ヘルニアになり、3週間近く仕事も青年会議所活動もできずに寝込んでしまったことです。

■それをどのように乗り越えましたか？

ベットの上でノートパソコンを駆使して横になりながら資料の準備を行いました。ですが、何よりも委員会のメンバーに、小学校へのチラシ配布を始め、実際の活動を行って支えていただきました。メンバーの力の大きさを実感いたしました。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

メンバーと一関の将来のことを語りあったり、事業について真剣に議論をしたりといった活動をする楽しさを感じているからです。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

正直なところ、まだこの活動を通じて自身に何が活きているかは説明できません。ですが、活動の中で積み上げてきた実績が自身の発言の自信に繋がっていることは感じています。

■率直にお聞かせください。青年会議所のメリットはなんですか？

メリットといえるかわかりませんが、人脈を豊かにすることができる機会が多くあります。自らが積極的に動けば、他の青年会議所の会員のみならず、行政や他団体の方々と接する場面も多くあり、必然的に人脈が豊かになります。実際に勤務先の上司も青年会議所のOBですが、一緒に行動している際には現役会員時代の人脈が生きている場面を良く目にします。





あさの ひろみ
浅野 裕美 先輩

有限会社 古戦場商事
専務取締役

平成27年度入会

平成29年度 総務広報委員長
平成28年度 ブロック大会実行委員会委員
平成27年度 青少年育成委員会委員

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

以前夫が青年会議所のメンバーとして活動しておりましたので、良く知っていました。会議等がグダグダと長く、とにかく飲み会が多いイメージでした。「一関を変える」など志が高く、自分のことで精一杯なのにそこまでできるわけがないと思い、自分には無理だろうと思っていました。

■入会のきっかけは？

子供の幼稚園の父兄にメンバーがいて誘われ、無下にも断れずオブザーバーとして参加した例会で、とあるメンバーの方に「自分の委員会で一緒に頑張っていただけませんか。」ととても熱心にお声掛けいただき、この方と一緒に頑張れるのではないか思ったので、入会を決意しました。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

青少年委員会のILC事業(つくば市に一関市の小学生を連れて行きJAXAなどでILCについて学ぶ)に参加しました。心境はとにかく必死というか夢中でした。

■なぜそのように感じましたか？

60名もの小学生との泊まりでの事業で、途中で行きたくないとグズる子がいたり、バス移動で体調を崩す子もいたり、大変だったからです。ただ、私も子供が居ますので、自分の子供と一緒に参加できる事業で本当に良かったと思います。自分の子供と一緒にできれば、私はこの事業に参加できなかったと、今は思っています。

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

岩手ブロック大会in一関・新年交賀会・岩手ブロック大会in釜石等、時間が許す限りは、参加しています。

どんなに些細なことでも「できないことはない、やれると思ってやる、やると決めたらやり切る」を信念に活動してきました。もちろん、家庭は最重要ですので、家庭の時間は大事にしています。

■活動する上で大変だったことはなんですか？

一言で表すと「時間管理」です。委員会の打合せなどで、メンバーの仕事の都合があるため集合時間が遅かったり、人数が集まると話が脱線して時間がかかり過ぎるなど、家庭を持つ主婦には、とにかく時間の管理が大変でした。

■それをどのように乗り越えましたか？

自分が委員長になった委員会では、SNSを活用し集まらなくても話し合える状況を作りました。打合せが必要な場合は「何時には絶対に終了する！」と決め、話しの脱線を防ぎ委員会を開催しました。また、主要メンバーが集まった時点で話始めてどんどん決めていく様に心掛けました。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

入会当初は、「卒業まで三年間だけだからとりあえず三年だけならやっても良いかな」と思っていたのですが、私の環境(仕事・子育てなど)を理解した上で、受け入れ、フォローしてくれるメンバーがいるので、今は続けたいと思っています。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

自ら進んで「青年会議所入ってます」とアピールしたり、活用しようとはしていません。しかし、周りの方から新聞に掲載された青年会議所の記事等を見て、「青年会議所に入ってるんだってね」と言われることもあり、少なからず自身や会社のイメージの向上になっていると感じています。

■率直にお聞かせ下さい。青年会議所のメリットはなんですか？

年齢も業種も全く違う者同士が、何度も話し合いを重ねなければ成功しない「事業」というものを作り上げると、信頼できるパートナーとしての「仲間」を自然に作れるのが青年会議所であると思います。信頼出来る「仲間」として、様々な業種において、何かあった時に「知り合いだから頼もうかな…」ではなく、「仲間(メンバー)のお店(会社)だから、お願いしよう！」というビジネスにおける信頼にもつながっていると思います。





くまがい かつや
熊谷 勝弥 君

有限会社グリーン総業

取締役

平成27年度入会

令和 3年度 組織改革委員会委員長
令和 2年度 専務理事
令和 1年度 組織進化推進委員会委員
平成30年度 事務局次長
平成29年度 会員開発委員会委員長
平成28年度 夏まつり委員会委員
平成27年度 60周年実行委員会委員

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

周りに青年会議所の関係者がいませんでしたので良く知らなかったのですが、商工会議所青年部より敷居が高く、お堅いイメージがありました。

■入会のきっかけは？

商工会議所青年部の藤沢地区副支部長の時に同団体専務理事をなされていた阿部徹さんにお声掛けいただきましたが、その時は青年会議所がどんな団体なのかわからず、数か月間は断り続けました。その後、「一関青年会議所を知る」という事業にオブザーバーとして参加して、青年会議所の活動を知りました。また、その時に取引先企業の重役の方々をお見受けして、ビジネスチャンスもあると思い入会に踏み切りました。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

二戸市で行われたブロック大会に参加しました。スケールの大きさ、視野の広さに圧倒されました。また、先輩方の他の地域の青年会議所メンバーの仲間とのつながりに憧れにも似た気持ちになりました。

■なぜそのように感じましたか？

海外での活動をしていることなど今まで自分では経験したことのないことばかりだったからです。

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

参加するからには、活動の中から学びを得られるように心掛けています。

■活動する上で大変だったことはなんですか？

とにかく、藤沢町から一関が遠く(片道45分)、移動に時間が取られるので、仕事と活動との時間の兼ね合いが難しいことです。

■それをどのように乗り越えましたか？

なるべく活動の時間を仕事に支障のない時間帯にしてもらいました。時間に間に合わないこともあります。短時間でもなるべく活動に参加するようにしています。また、活動していく中で仕事と両立するための時間の使い方やスケジュール管理も上達してきたように思います。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

自己研鑽です。続けることで今の自分自身に何かしら得るものがあると思っているからです。何よりも辛くとも自分が決めたことなので、諦めたくないです。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

青年会議所活動をするために、限られた時間でどのような仕事をするか考え、仕事の能力が向上した様に思います。何をすべきなのか、優先順位の付け方も上手くなりました。また、夏まつりに参加したり、一関市のことに以前より詳しくなったと思います。

■率直にお聞かせください。青年会議所のメリットはなんですか？

誰にでもチャンスがあることだと思います。自分が学ぶ気になれば、とことん学べ、自分次第で世界の活動にも参加できます。また、経営者や次世代の会社を担う同じ境遇の方との横のつながりが持てること、アカデミーの同期など、県内にも幅広く仲間ができて同じ悩みを共有できることも大きなメリットだと思います。



「自己成長につながりました」



さとう ともよ
佐藤 友世 君

住友生命相互会社

所長

平成30年度入会

令和 3年度 地域活性化委員会副委員長

令和 2年度 青少年育成委員会委員

令和 1年度 未来創造委員会委員

平成30年度 組織戦略実行委員会委員

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

回りに一関青年会議所に入っている人がおらず、入会前は一関青年会議所という団体を知りませんでした

■入会のきっかけは？

現在のメンバーの方と仕事上で付き合いがあり、その方より一関青年会議所の事を伺い、「青年会議所は地域発展のために活動を行っている団体であり、子供達の未来のために活動できるよ」とお話を聞き、また仕事の付き合いも増えるよとお誘いを受けたことがきっかけとなります。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

2月例会のビジネス交流会でした。一関市内の経営者の方が多くビシッとスーツを着て名刺交換をしている姿に場違いなのではと思いました。

■なぜそのように感じましたか？

皆さんの目がキラキラしていてちょっと怖かったから

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

入会一年目はとても大変でした。何をどのように行って行けば良いのかわからなかったのですが、今では青年会議所ならではの関わりを活かして活動を行っています

■活動する上で大変だったことはなんですか？

家庭との両立ですね、帰宅後夕飯の準備を行いその後委員会などに参加しておりましたし、休日の例会等は子供の部活動の送り迎え等の合間で参加していましたので

■それをどのように乗り越えましたか？

やるしかないの精神で乗り越えました。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

青年会議所の活動に参加してみて始めは怖いと思っていた社長さん方とも気軽に話すことが出来るようになって、知り合いの輪が広がっているので続けられています。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

青年会議所の新年交賀会や卒業式などで司会を行えたり、今まで経験出来なかった事を経験する機会があり勉強になっていますし、例会事業を構築するプロセスや事業の準備、シナリオ作成により当日の事業がスムーズに行えるなど、多くの学びを得ることが出来ています。

■率直にお聞かせください。青年会議所のメリットはなんですか？

多くの繋がり、多くの学びがあり、自己成長につながりました。

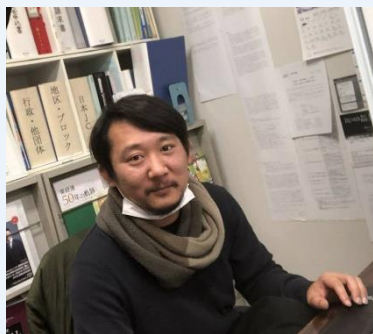


なす かずき
那須 一樹 君

ONE TREE FARM

令和 2年度入会

令和 3年度 会員拡大委員会委員長
令和 2年度 65周年実行委員会委員



「多くの仲間ができました」

■入会前の青年会議所はどんなイメージでしたか？

青年会議所という名は知っていましたが、具体的に何をしているかは知りませんでした。堅苦しいイメージはありました。

■入会のきっかけは？

知り合いの先輩が入会していたこともあり、青年会議所が主催する、ビジネス交流会に参加したことがきっかけでした。それから2年間、熱心にお声掛けを頂き、「まずはやってみよう」と思い入会を決意しました。

■一番最初に参加した活動はなんでしたか？その時の心境は？

2020年度65周年記念講演会事業に参加しました。初めての事業で初めての司会、不安でいっぱいでした。

■なぜそのように感じましたか？

2020年新型コロナウイルス感染症の影響により、青年会議所活動も思うようにできない状況でした。その中で、ZOOMを使用してのWeb講演会、例のない初めてづくしのことばかりで、失敗できないというプレッシャーを感じていました。

■その後、どのように青年会議所活動をおこなっていますか？

時間が経つにつれ、仲間とのコミュニケーションもとれ、今では楽しみながら活動を行っております。

■活動する上で大変だったことはなんですか？

農家であることから、繁忙期はどうしても予定通りに動くことができず、活動に参加できなかったりと、メンバーには迷惑を掛けてしまったことです。

■それをどのように乗り越えましたか？

農家ということをメンバーには理解してもらい、自分のできる範囲内での活動をするようにしています。できる時はとことんやる、できない時はメンバーに支えてもらっています。また、スケジュール管理を行うことで、活動時間を設けれるようにしています。

■今も活動を続けている(続けた)理由はなぜ？

青年会議所は40歳で卒業となります。はたして卒業したときに、「自分は何を想うんだろう」その答えを出すために、時間のゆるす限りは活動していきたいと考えています。また、何よりも大切な仲間ができたことが、一番の続けている理由です。

■青年会議所での経験が現在のご自身にとってどのように活かされていますか？

入会してからの日が浅く、正直どのように活かされているかは、まだ実感がありません。これからの活動が自分にどのような経験を与えるのかを、楽しみながら、青年会議所活動を行っていきたいと思います。

■率直にお聞かせください。青年会議所のメリットはなんですか？

仲間ができることだと思います。青年会議所には多種多様な業種のメンバーがいます。普段の生活で出会えな人との交流ができること、これも青年会議所の魅力の一つだと思います。また、切磋琢磨しあえる仲間がいることで、自己成長にもつながると感じています。



メンバー紹介

2021年 1月 現在



理事長
株式会社ケアサービス
代表取締役 小山 裕貴



直前理事長
株式会社平間眼科
平間 正宏



顧問
株式会社イウ
代表取締役 阿部 敬



副理事長
株式会社鈴木組
代表取締役 千葉 勝徳



副理事長
株式会社和室建築保障
専務取締役 阿部 勇太



副理事長
つむぎ接骨院
院長 阿部 裕章



副理事長
宇部建設㈱
保守管理 加藤 圭一郎



専務理事
ソニー生命保険㈱
ライフプランナー 千葉 靖一



監事
㈱大誠商事
代表取締役 佐々木 豊



監事
明和土地㈱
取締役 千葉 太郎



青少年育成委員会 委員長
ペリーノホテル一関
支配人 菊池 亮



青少年育成委員会 副委員長
Angelotアンジェロ
オーナー 中沢 由香



青少年育成委員会 委員
DRAGONGATE㈱
執行役員 小野寺 正人



青少年育成委員会 委員
熊谷商事㈱
専務取締役 熊谷 康



青少年育成委員会 委員
株式会社イウタウンニング
佐藤 琢哉



地域活性化委員会 委員長
㈱清水屋
専務取締役 清水 善郎



地域活性化委員会 副委員長
住友生命相互会社
所長 佐藤 友世



地域活性化委員会 委員
Angelotアンジェロ
施工管理部長 金森 和也



地域活性化委員会 委員
南大光工機
松島 裕也



地域活性化委員会 委員
FitnessDanceStudio CORE
代表 高橋 亮



組織改革委員会 委員長
㈱グリーン総業
取締役統括部長 熊谷 勝弥



組織改革委員会 副委員長
司法書士佐藤和昭事務所
司法書士 佐藤 和昭



組織改革委員会 委員
㈱佐原
営業本部 佐原 翔



組織改革委員会 委員
一関市役所
主任主事 菅原 翔太



会員拡大委員会 委員長
ONE TREE FARM
那須 一樹



会員拡大委員会 副委員長
スナックAgeha/Lounge花
オーナー 阿部 真岐



会員拡大委員会 委員
ソニー生命保険㈱
ライフプランナー 坂下 立志



会員拡大委員会 委員
㈱建設
代表 畑塚 雅人



会員拡大委員会 委員
住友生命相互会社
支店長 木村 俊之



SDGs推進委員会 委員長
一関市役所
主事 伊藤 雅成



SDGs推進委員会 副委員長
佐藤工務店㈱
取締役常務 佐藤 慎



SDGs推進委員会 委員
川崎能大司法書士・行政書士事務所
司法書士・行政書士 川崎 能大



SDGs推進委員会 委員
㈱ヤマフジ
取締役 横山 等



SDGs推進委員会 委員
㈱常州園
専務取締役 佐藤 宗洋



事務局 事務局長
一関信用金庫
個人営業部 阿部 賢太郎



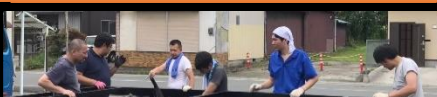
事務局 事務局長次長
日本住宅㈱
課長代理 嶋崎 智也



事務局
株式会社ケアサービス
県南地区担当スタッフ 溝井 達

MEMO

MEMO



一般社団法人 一関青年会議所

〒021-0881
岩手県一関市大町4番29号 なのはなプラザ4階
TEL:0191-23-8639
FAX:0191-23-6451
Email: iseki78jc@mx4.et.tiki.ne.jp
URL: <http://www.ichinoseki-jc.jp/>

